



株式会社ブレス様の 『サステナビリティ経営方針』策定を支援しました！

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）が実施する「114サステナビリティ経営導入支援サービス」を通じて、倉敷支店取引先 株式会社ブレス（岡山県倉敷市羽島 代表取締役 平松 利胸）が『サステナビリティ経営方針』を策定されましたのでお知らせします。

なお本件は、「114サステナビリティ経営導入支援サービス」の当行取扱第1号案件となります。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

会社名	株式会社ブレス
所在地	岡山県倉敷市羽島 720 番地の 2
代表者	平松 利胸
業種	眼鏡・補聴器小売業

※株式会社 ブレスの「サステナビリティ経営方針」については、別紙をご参照ください。

以上

株式会社ブレスの サステナビリティ経営方針

企業理念

ミッション 感動と安心をお届けする

ビジョン 3つの日本一

〈メガネ〉装用率、累進化率、インディビジュアル比率日本一
〈補聴器〉装用率、両耳比率、生涯台数日本一

バリュー お客様への5つの約束

「お客様に必要とされる人・役に立つ人・支持される人・
喜ばれる人・信頼される人になります」

外部環境

マクロ環境

社会 : コロナによる外出減の習慣化
政治経済: 物価高による家計圧迫
購買意欲低下
自然 : 気候変動で外出しやすい日が
減少
技術 : 遠近両用眼内レンズで高齢者
のメガネ需要減少

ミクロ環境

顧客 : 2040年頃まではメインターゲ
ット増加、若年層減少
サプライヤー: 外国資本の活性化
競合 : 耳鼻科の補聴器販売
眼科のメガネ販売の可能性

経営資本

財務資本

金融機関との
つながり

物的資本

ロードサイド店舗
最新鋭機材

人的資本

モチベーションの高い
ベテラン
準社員・パート社員
の活躍

知的資本

ベテラン社員の
ノウハウ

関係資本

県外同業者との
ネットワーク
眼科との関係性

事業活動

マテリアリティ

1. 社会一人一人がキャリアを
描ける職場
2. 視覚・聴覚サポートによる
ウェルビーイングの実現
3. ひらまつブランドで、岡山の
「視える・聴こえる」を支える
4. 眼鏡補聴器販売のDX化

取組方針

社員のスキルマップ・キャリア制度の復活
店長業務・権限をスキルマップ化
柔軟なキャリア形成の実現

眼鏡・補聴器ユーザーに寄り添った接客
スタイルの確立
自分たちから「視える」「聴こえる」を届ける

エリア内のブランドコミュニティ構築
地域連携の強化と次世代潜在顧客への
アプローチ

全店舗でデジタル接客の徹底

持続可能な 社会の実現へ

社会価値・ 経済価値創出

目標値



2023年11月期末
全社員スキルマップ
共有完了



2024年11月期末
店長スキル見える化
完了



2028年11月期末
補聴器ユーザー、視能
訓練士 各1名雇用



2027年11月期末
購入眼鏡・補聴器の
装用率を95%に



地域企業とのコラボ
企画 年間4件開催



3歳から小学校入学
まで年1回眼科健診
の推奨告知



2029年11月期末
20歳以上全顧客
デジタル接客